

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(理数) 科目名(理数数学Ⅱ) (1)単位 (1)学年 履修規定(理数科必修)

担当者(木村 宏樹、久保田 元)

1. 教科書、副教材

教科書	数研出版「高等学校 数学Ⅱ」
副教材	数研出版 教科書傍用問題集「4STEP 数学Ⅱ+B」

2. 科目の達成目標

数学Ⅱの基礎基本を深く確実に理解し、重要な解法を習得する。その上で、身についた知識を問題に合わせて適切に応用できる問題解決能力と、ポイントを押さえた表現力のある答案作成力を高めていく。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	考查範囲	時間 (予定)	
前期	4月			第1回		
	5月					
	6月			第2回		
	7月					
	8月			第3回		
	9月					
後期	10月			第4回		
	11月					
	12月			第5回		
	1月					
	2月	数学Ⅱ 第1章 式と証明	式と計算 等式・不等式の証明		式と計算 等式・不等式の証明 複素数と2次方程式の解 高次方程式	35
	3月	第2章 複素数と方程式	複素数と2次方程式の解 高次方程式			
評価の 観点・方法	1 定期考査・実力考査 教科書の例題や応用例題が完全に自分のものとなって正答(解法の再現)が導かれているか。 本質が理解できているか。考え抜く力が育っているか。適切かつ簡潔な表現力で説明ができているか。 応用力がどの程度身についているか。以上の観点で考査問題を作成する。 2 評価の方法 試験の結果と日頃の学習状況を評価して、成績をつける。 出席と欠席の比率も評価の対象とする。 また、授業に臨む意欲的な姿勢、関心の高さ、真摯かつ謙虚に数学と向き合う態度も評価する。					
	学習への 注意・助言	確かな学力を身につけるため以下の4点を徹底させたい。 1 予習復習を毎日やって、自学自習の習慣を身に付ける。 2 ただ答えが出ればよいというのではなく、解法や答案の書き方にも注意する。書くことによって考えを整理する。 3 反復練習をする中で、面倒な計算も速く正確にすることができる。 4 分からない問題にぶつかってもあきらめずに考え抜くことができる。 数学を通して、理解する楽しみや数学の美しさを味わってもらいたい。				